

1 研究主題及び副題

「分かる・できる」が実現できる授業づくり  
－「わ・さ・び」を意識した授業改善を通して（1年次）－

2 主題設定の理由

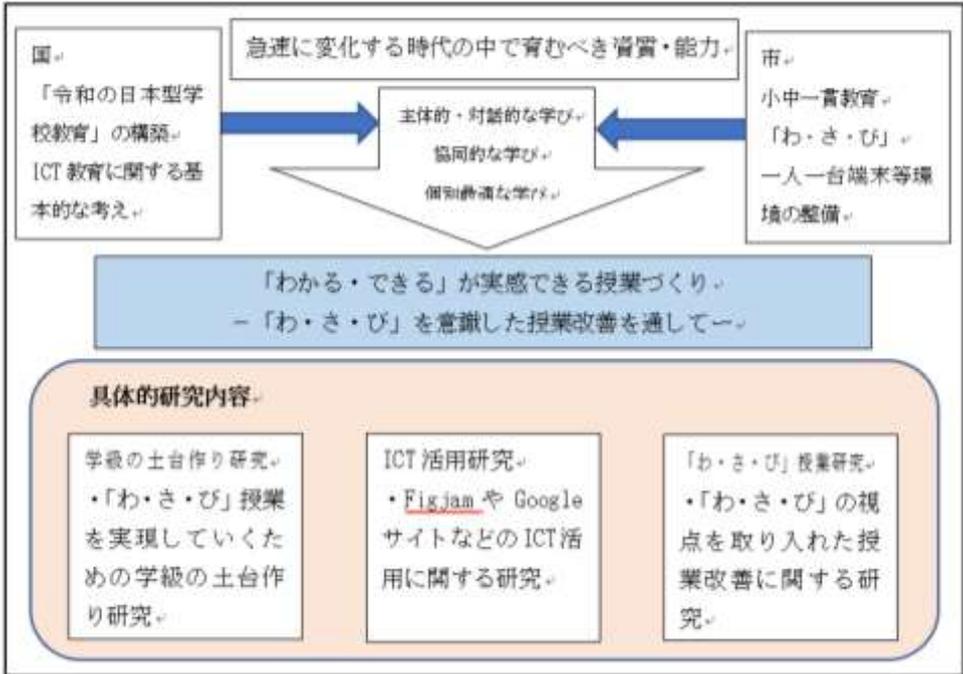
情報化やグローバル化の「Society5.0」の時代の到来、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の作り手となることが求められている。

このような中、令和3年1月の中央教育審議会答申において、「個別最適な学び」が提言された。「個別最適な学び」には、「指導の個別化」と「学習の個性化」の意味が含まれている。個に応じた指導を一層重視し、指導法や指導体制の工夫改善を行い、GIGAスクール構想の実現によるICT環境の活用、少人数によるきめ細やかな指導体制の整備、「主体的で対話的な深い学び」を実現していくことが提言された。

都城市でも、「わ・さ・び」型の授業が提案されている。「脇役に徹する」「先を読む」「微細な変化に気付く」をキーワードに、子どもが主体となり、対話的で深い学びを実現していくための授業が求められているのである。

しかしながら、本校の現状として、教師主導の一斉教授型授業に取り組んでいる学級もあり、未だ「わ・さ・び」を意識した授業改善が十分に行われていない状況にある。また、昨年度末に行ったアンケート調査でも、子ども主体の授業実現をしていくために、学級の土台作りに関する研究をしていく必要性を感じている職員も多数見られ、「わ・さ・び」型授業への改善に不安を感じている職員も見られた。

このような本校の状況を鑑み、本年度からの3年間、「わ・さ・び」の視点を取り入れた授業改善の研究を進めていく。研究の1年目となる本年度は、1学期に「わ・さ・び」を意識した授業改善を行うための学級の土台作りをしていくための手立てに関する研究を行い、2学期に「わ・さ・び」を意識した授業改善に学年部ごとに取り組む。それに合わせ、国の「令和の日本型学校教育」の考えにも従い、ICTも積極的に活用していけるよう、ICT活用に関する研究も年間を通して行うこととする。これにより、本校の目標を具現化できると考え、本主題を設定した。



### 3 研究の目的

全児童が「分かる・できる」と言える授業づくりを実現するために、学級の土台作り、ICT 研修も効果的に取り入れ、「わ・さ・び」の視点を取り入れた授業改善に取り組む。

### 4 目指す児童の姿

- ・理解が早い児童も支援が必要な児童も「全員」その時間のねらいに到達できる。
- ・子ども自ら、学習課題に関心を持ち、主体的に学ぼうとすることができる。

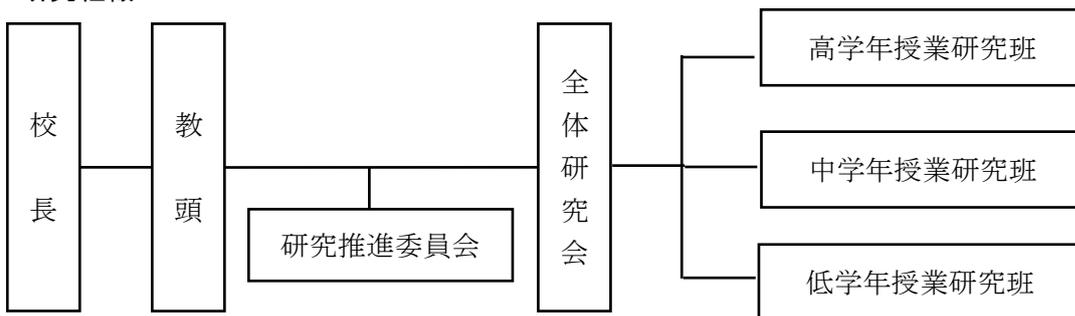
### 5 研究内容

- (1) 「わ・さ・び」を意識した授業方法の改善
- (2) 「わ・さ・び」を意識した授業実践を行うための学級の土台作りの改善
- (3) Figjam や Google サイトなど ICT の基本的な活用方法の研究

### 6 年次計画

主な研究内容			
	『学級の土台作り』研究	『ICT活用』研究	『「わ・さ・び」授業』研究
1 年 目	・「わ・さ・び」の授業作りをしていくための学級の土台作り研究	・Figjam や Google サイトなどの基本的な ICT 活用	・「わ・さ・び」を意識した授業研究（学年部）
2 年 目	↓	・Figjam を授業の中で活用する応用的 ICT 研修	・「わ・さ・び」を意識した授業研究（一人一授業）
3 年 目	↓	↓	・三校合同研修会にて、「わ・さ・び」を意識した授業研究発表

### 7 研究組織



#### (1) 研究推進委員会

- 校長、教頭、教務主任、研究主任で構成し、研究の推進と調整を行う。

#### (2) 全体研究会

- 全教職員で構成し、研究の進め方、研究内容、研究授業、実践事項等についての共通理解を図る。

#### (3) 学年部別研究会

- 各学年部所属部員で構成し、全体研究会で共通理解したことを基に、児童の発達段階に応じた実践研究を行う。

## 8 研究計画

学期	月	日	研修形態	主な内容
1学期	4	4	全体研	研究の見通し・共通理解
	4	24	学年研	各学年での実態調査・ <u>目標設定</u>
	5	7	全体研	I C T研修 (Figjam研修) 共有するテーマ「土台づくりの手法」
	5	29	全体・学年研	「わ・さ・び」を意識した授業実践動画の視聴とFigjamを活用しての意見共有
	6	12		小中合同研修会 (一貫教育) 学力テスト
夏季休業			全体・学年研	主題研2回 1回目: 「わ・さ・び」に関する研修 2学期の授業実践説明・授業者決定 2回目: 第1回事前研
2学期	9	11	学年研	学年の実態確認・目標の確認 第2回事前研
	9	25	全体研	Figjamを活用した授業実践例
	10	9	学年研	第3回事前研
	11	6	全体研	実践授業を振り返っての意見共有
	11	13		小中合同研修会 (一貫教育)
3学期	1	22	全体・学年研	学年で実態の確認・目標再設定
	2	5	全体・班別研	I C T研修 次年度に向けて
	2	19	全体研	本年度のまとめと次年度の内容について